

令和五年度 第三学期始業式 校長式辞

おはようございます。また、新年おめでとうございます。令和六年もよろしく願います。

一月一日に発生した令和六年能登半島地震では、多数の被害者・建物の損壊等が出て、今なお電気・水道等ライフラインもままならない状態であります。一月二日には、羽田空港の滑走路で日本航空機と海上保安庁の航空機が衝突した事故もありました。

震源地である石川県珠洲市の隣、能登町に石川県立能登高校があり、本校と同様に水産・海洋について学ぶ生徒が在籍しています。本日予定されていた始業式は延期となり、寄宿舎にも帰って来られない状況と聞いています。

心よりお見舞い申し上げるとともに、一日も早く平穏な生活を取り戻されることをお祈りします。

私たちも、こうして学ぶ環境が確保されていることに感謝しつつ、いつ我が身に起こるかかわらない予測困難な地震や津波等に対し、日頃から備えておかねばなりません。年始から大きなニュースがありました。令和六年は何か、外国で起こっている戦争（二ヶ所ありますね）も、収束し、平和な世の中になることを願っております。

例年にならないような、積雪の少ない年末年始を経て、第三学期始業式を迎えました。もし、慢性的な地球温暖化が原因であるとするならば、喜べないのかも知れません。

皆さんは、どんな冬休みだったでしょうか？

二期の終業式に述べておりました、小さなことでもよいので、何か目標を立てて、計画的に過ごしてください。また、冬休み中には、周りの大人と対話してくださいとお願いしましたが、いかがでしたか？

本日、私からは一点だけ皆さんに贈ります。

昨年十二月に、アメリカ大リーグで活躍する大谷翔平選手が、エンジェルスからドジャースへと移籍し、十年で総額およそ千十五億円の契約。プロスポーツ史上最高額での契約になったニュースを知っている人も多いと思います。

同じく大リーグでも活躍したプロ野球選手で、松井秀喜さんを、皆さんは知っているでしょうか？

松井選手は、先日の地震災害があった、石川県出身であります。日本ではジャイアンツ、大リーグではニューヨーク・ヤンキースなどで活躍し、二〇一三年には国民栄誉賞を受賞。愛称は「ゴジラ」として知られています。

その松井選手の言葉を紹介します。

『困難に直面したとき「今、自分にできることは何か」と自問します。悔やみ、落ち込むしかないのでしょうか。多くの場合、そんなことはありません。きっと前に進める選択肢があるはずです。』と述べられています。

例えば、皆さんが挑戦する資格に、実用英語技能検定（英検）があります。英検には一次と二次がありますが、二級ぐらいになると、なかなか合格できない難易度の高い資格になることは皆さんも知っているとおります。二回も受験したが不合格になった。周りの人

は合格しているのにと、悲しい気持ちになったという人が居るかも知れません。そういう場合、過去の問題集ばかりに取り組んでいたのを、思い切って、単語を徹底的に覚えていくなどという学習方式に転換するという方法をやってみる。というものが当てはまります。山登りで頂上を目指す場合、登山道は一つだけではないこともヒントになります。

皆さんも、学習や部活動、資格取得など、これまでも困った場面、困難を感じる場面があったことと思います。そんな時、くよくよと落ち込んだり、へこたれたりせず、松井選手の言葉「今できることが何かないか？」と冷静かつ前向きに考え、「どうしたら前に進めるか」など、発想を変えて行動に移してもらえればと、令和六年の始まりに際し、お願いしておきます。

本日始まった三学期は、大変短い期間です。

しかし、一・二年生は進級を前にする、まとめ・締めくくりの学年成績が定まる学期。三年生は卒業を目前にする時期、就職して社会に巣立ったり、上級学校という新天地での活躍をしたりするための大切な助走期間でもあります。

昨年の二学期までも、残念ながら欠席が多くなり過ぎる人が目立ちました。

この時期冬場は、風邪やインフルエンザにも罹りやすい時期でもあります。どうか、体調管理も大切なことと認識して、令和六年の順調なスタートをきってもらうとともに、できるだけ学校を休むことなく、よい形で令和五年度の締めくくりの学期とできるよう、切にお願いしておきます。

私からの式辞は以上です。

令和六年一月九日

校長 上林 秋男